

政活費返還請求 求め提訴

町田・市民団体の3人 市議会の3152万円

町田市議会の政務活動費に不適切な支出があったとして、市民団体「町田市政を考える会・草の根」のメンバー3人が15日、石阪丈一市長に対し、計約3152万円を返還請求するよう求める訴訟を東京地裁に起こした。

訴状では、2014～17年度に交付された政務活動費(15年度までは政務調査費)のうち、自由

ブ、保守連合(当時)の3党派で、それぞれ約213万円、約1283万円、約656万円が違法に支出されたとしている。

町田市内でこの日、記者会見した原告で町田市政を考える会・草の根の小林美知代表(61)によると、情報公開で入手した市議会各会派の会計帳簿や領収書などを調べたところ、同じ日に複数回給油したガソリン代や他人のクレジットカードで支払われた領収書が提出されていたり、異なる駐車場の領収書に記載されていた駐車時間帯が重なっていたりしたという。小林代表は「議会と無関係の団体の海外出張費や約20万円の封筒代もあった」としている。

同市議会の政務活動費は、議員1人あたり月額6万円。各党派に対し、所属議員の人数分が支給されている。

原告3人は昨年11月、市監査委員と同じ内容の住民監査請求を行ったが、市監査委員は同12月、請求期限の経過などを理由に却下している。

町田市内でこの日、記者